

著作関係者

代表 北 俊夫 前国士館大学教授

小原 友行 福山大学教授

加藤 寿朗 島根大学教授

唐木 清志 筑波大学教授

木村 博一 広島大学大学院教授

阿久津 理 富山大学附属小学校教諭
浅野 正道 東京都あきる野市立草花小学校校長
荒木 逸治 熊本県熊本市立向山小学校校長
飯塚 博恭 大阪府大阪市立北中道小学校校長
石崎 厚史 大阪府大阪市立野田小学校校長
井手 司 福岡教育大学附属福岡小学校教諭
井手 なぎ 西南学院小学校教諭
伊藤 貴啓 愛知教育大学教授
今村 吾朗 東京都杉並区立高円寺中学校教諭
井村 章子 大阪府大阪市立聖和小学校教諭
梅澤 真一 筑波大学附属小学校教諭
江間 史明 山形大学教授
大木 直之 東京都江東区立第七砂町小学校教諭
大滝 淳子 東京都中野区立桃園小学校教諭
太田 満 共栄大学講師
岡崎 誠司 富山大学教授
岡田 梓 京都府京都市立大宮小学校教諭
岡田 英三 岡山県岡山市立御野小学校嘱託教諭
岡田 泰孝 お茶の水女子大学附属小学校教諭
岡本 典久 広島県広島市立春日野小学校教諭
小澤 靖子 東京都多摩市立貝取小学校教諭
粕谷 昌良 筑波大学附属小学校教諭
川口 広美 広島大学大学院准教授
木本 武志 東京都板橋区立板橋第十小学校教諭
清末 泰成 宮城県白石市立白石第一小学校教諭
桐谷 正信 埼玉大学教授
熊谷 嘉文 宮城県南三陸町立志津川小学校教頭
小国 喜弘 東京大学大学院教授
兒玉 修 宮崎大学名誉教授
後藤 陽子 大阪府大阪市立大江小学校教諭
小松 里実 東京都あきる野市立草花小学校教諭

今野日出晴 岩手大学教授
齋藤 淳 福岡教育大学附属福岡小学校教諭
左海 克彦 大阪府大阪市立城東小学校校長
坂井 清隆 福岡教育大学教職大学院講師
佐久間敦史 大阪教育大学准教授
櫻井 正義 東京都東久留米市立本村小学校教諭
佐藤 修 宮城県登米市立登米小学校教諭
佐藤 拓郎 宮城教育大学附属小学校教諭
澤 直也 広島県広島市立みどり坂小学校教諭
沢畑 慶介 東京都江東区立越中島小学校教諭
新貝 朗 東京都江東区立第二辰巳小学校校長
須本 良夫 岐阜大学教授
瀬古 雅大 石川県金沢市立諸江町小学校教諭
田内 利美 東京都世田谷区立等々力小学校教諭
谷口 将紀 東京大学大学院教授
多和田雅保 横浜国立大学教授
忠谷 嘉人 京都府京都市立上賀茂小学校教諭
月岡 正明 東京都世田谷区立等々力小学校校長
豊嶋 啓司 福岡教育大学教授
豊田 雅弘 大阪府大阪市立成育小学校校長
中楯 浩太 東京都世田谷区立等々力小学校教諭
中田 正弘 帝京大学大学院教授
中山 京子 帝京大学教授
西川 京子 福山平成大学准教授
野村 豊 金沢大学特任教授
芳賀 航 宮城県仙台市立長命ヶ丘小学校教諭
柱谷 元紀 京都府京都市立安井小学校教諭
林 敬介 石川県内灘町立鶴ヶ丘小学校教諭
平松 義樹 愛媛大学教授
廣岡 正昭 園田学園女子大学教授
藤尾 治仁 大阪府大阪市立大江小学校校長

藤瀬 泰司 熊本大学准教授
星野 勇悟 大阪府大東市立四条小学校教諭
前田 賢次 北海道教育大学札幌校准教授
松尾 鉄城 女子栄養大学短期大学部特任教授
松本 康 信州大学教授
溝口 和宏 鹿児島大学大学院教授
宮崎 沙織 群馬大学准教授
村井 政一 石川県野々市市立野々市小学校教諭
安武 将広 岡山県岡山市立福田小学校教諭
山田 一人 熊本県熊本市立託麻南小学校教諭
山田 秀和 岡山大学大学院准教授
山家 哲雄 東京都世田谷区立三宿小学校教諭
横田 富信 東京都世田谷区立経堂小学校教諭
吉井 大輔 埼玉県鶴ヶ島市立新町小学校教諭
吉岡 泰志 東京都世田谷区立経堂小学校教諭
吉藤 玲子 東京都台東区立忍岡小学校校長
吉水 裕也 兵庫教育大学大学院教授
吉村 潔 東京都世田谷区立烏山北小学校校長
渡邊 将勝 岡山県岡山市立福島小学校教諭

● 特別支援に関する校閲

田中 良広 帝京平成大学教授

● バリアフリーに関する校閲

徳田 克己 筑波大学教授
西館 有沙 富山大学准教授
水野 智美 筑波大学准教授

● 色彩デザインに関する編集協力

色覚問題研究グループぱすてる

2年度用『新しい社会』については、Webページでもご紹介しています。こちらからご覧ください。

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/shakai/>



東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7365 (社会編集部) Fax:03-5390-6015
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

新しい社会

東京書籍



この資料は、2年度用小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書宣伝行動基準」に則っております。

2年度
小学校

内容解説資料



もくじ

編集の基本方針..... 1

特色 ①
「調べて、考えたくなる」教科書..... 2

特色 ②
「社会とかかわる」子供を育てる教科書... 8

特色 ③
「主体的に、楽しく学ぶことができる」
教科書..... 10

今日的課題に関する内容が充実.....14

多様な学びを実現する手立て 16

豊富な教材と使いやすさへの配慮..... 18

● 3年の特色..... 20

● 4年の特色..... 21

● 5年の特色..... 22

● 6年の特色..... 24

教科書に登場する主な事例地..... 26

「学習者用デジタル教科書」のご案内、
「指導者用デジタル教科書(教材)」のご案内、
充実した教師用指導書..... 28

代表者のことば

教科「社会科」の役割を果たしたい

教育の目的は一人の人間として人格の完成を目指すとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養うことにあります。よき国づくり、社会づくりに貢献できる人づくりが期待されています。

新学習指導要領は「社会に開かれた教育課程」の実現を求めています。これは日々の教育活動をいまの地域社会に開くことにとどまらず、子供が活躍する将来の社会を見据えて開くことを意味しています。学校教育の出口が強く意識されているのは、学校は子供たちを社会人として成長させる準備教育の場であるとする認識にもとづくものです。これからの学校では社会への入口を意識した教育活動が一層求められます。

社会科の教科目標には「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」を育成することが示されています。社会科は将来の社会人を育成する中核となる教科であると言えます。

私たちは社会や社会的事象に支えられています。社会のさまざまな現象から影響を受けています。先人の努力のうえに現在の社会があります。こうした視点から、社会的な事象や事柄がわかり、これらと自分(たち)との結びつきを認識するようになると、子供のなかによりよい社会の形成にかかわろうとする意識が芽生えてきます。

社会科授業では、社会的事象相互の関係性とともに、地理的、歴史的な視点や方法など「社会的な見方・考え方」を発揮させることによって、子供たちに社会認識を深めさせることができます。また、子供たちが目的意識をもって主体的に問題解決に取り組む学習や互いに高め合う学び合い活動を充実させることによって、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実現させることができます。

なぜ、子供に社会科を学ばせるのか。改めて社会科の教科としての役割を今日的な視点からとらえ、社会科授業を一層充実させたいと考えます。



北 俊夫 (きた・としお)

福井県に生まれる。東京都公立小学校教員、東京都教育委員会指導主事、文部省(現文部科学省)初等中等教育局教科調査官、岐阜大学教授、国士舘大学教授を経て、現在総合初等教育研究所参与。
【近著】『「主体的・対話的で深い学び」を実現する社会科授業づくり』『「思考力・判断力・表現力」を鍛える新社会科の指導と評価』『“知識の構造図”を生かす問題解決的な授業づくり』(明治図書)、『「ものの見方・考え方」とは何か』『なぜ子どもに社会科を学ばせるのか』(文溪堂)など。

『新しい社会』
編集の基本方針

『新しい社会』は、問題解決的な学習を通して、よりよい社会づくりに参画・貢献しようとする意欲と態度を育てます。

1 「調べて、考えたくなる」教科書

- ・新学習指導要領の各学年の目標に明記されている「学習の問題を追究・解決する活動」を重視し、「学習問題をつかむ・調べる・まとめる・いかす」を基本とした「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができるようにしました。
- ・「社会的な見方・考え方」を、「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と「方法」(考え方)に分けて提示し、「見方・考え方」を働かせながら問題解決的な学習を進めることで、深い学びにつなげることができるようにしました。

2 「社会とかかわる」子供を育てる教科書

- ・学習成果を活用した学習活動の場面を中心に、実生活や実社会との結びつきを意識させ、よりよい社会づくりのために参画・貢献しようとする意欲や態度の基礎を養うとともに、社会へのかかわり方を選択・判断する活動を充実させました。
- ・実社会に生きる人々の姿を多数掲載し、社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実際に話を聞いたりする活動を充実させることができるようにしました。

3 「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

- ・「つかむ」段階では、予想や学習計画を立てる場面を随所に提示したほか、各学年の冒頭と巻末には、学年で「学ぶこと」や「学んだこと」を提示して、「見通し」をもって学習を進めることができるようにしました。
- ・見開きを使った写真やイラストなど、活用できる資料を多数掲載するとともに、親しみやすい児童キャラクターが学習をナビゲートするようにし、児童が主体的に、楽しく学ぶことができるようにしました。



表紙は、各学年の学習事項をふまえて、社会科学学習への興味・関心を喚起するイラストと写真で構成しました。
3年、4年、5年上、5年下、6年政治・国際編、6年歴史編の全6冊の構成とし、6年の2冊は4月に同時供給します。